

**ふるさと鹿屋PR業務委託
公募型プロポーザル実施結果について（公表）**

ふるさと鹿屋PR業務委託
公募型プロポーザル選定委員会

1 募集提案業務

ふるさと鹿屋PR業務委託

2 業務の内容

首都圏・関西圏在住の関係人口となり得る世代（30～50代）をターゲットとした本市の認知度向上及び地場産品のブランディングに向けた広報PR活動を実施する。

3 公募型プロポーザル参加事業者

2事業者

4 選考経過

No	内容	日時
1	参加表明書 提出期限	令和8年8月17日（月）
2	参加要請書 送付	令和8年8月19日（水）
3	企画提案必要書類 提出期限	令和8年9月17日（木）
4	選定委員会（プレゼンテーション・審査）	令和8年9月29日（火）

5 審査方法

ふるさと鹿屋PR業務委託公募型プロポーザル選定委員会（委員5名）において、仕様書に基づき参加事業者（2事業者）から提出された提案内容等を評価項目ごとに段階評価・採点を行い、受注候補者としての適否について協議し、提案者を本業務委託の受注候補者として特定したもの。なお、最低基準点を満点（100点×5人＝500点）の6割の300点とした。

6 審査結果

(1) 受注候補者

株式会社九州博報堂 南九州支社

(2) プロポーザル審査結果

別表のとおり

公募型プロポーザル 審査結果

業務：ふるさと鹿屋PR業務委託

審査項目		審査基準	配点 100点×5人	A社	B社
1 業務経歴		過去に同様の業務又は類似の実績があり、良好な実績をあげているか。	50	50	50
2 業務実施体制		業務遂行に十分な体制を確保し、発注者との連絡調整、迅速な対応が可能であるか。	25	25	25
3 提案 内容	的 確 性	業務の目的及び内容について十分に理解した提案となっているか。	50	46	38
		ターゲット（時期、地域、客層等）は明確か。	25	17	21
	独創性 及び 拡張性	自社の強みを十分に活用し、オリジナリティのある独自の提案となっているか。	50	44	32
		かのやカンパチロウを本市のシティプロモーションのアイコンとして主体的かつ効果的に活用した提案となっているか。	50	36	32
		目的を達成するための効果的で具体的なアイデアや取組となっているか。	50	41	38
		効果的な広告展開が見込まれるか。	50	38	29
	妥 当 性	実施スケジュールは現実的かつ実行可能なものとなっているか。	50	33	37
		効果測定の方法は具体的で妥当性があるか。	50	36	32
4 見積価格		見積価格は、業務の内容に見合った適正なものであるか。	50	50	50
総合得点			500	416	384
順位			—	(1)	(2)

※受注候補者：A社（株式会社九州博報堂 南九州支社）